

# 令和5年度夏 子ども図書館おすすめ本

～「夏の読書カード」より～

## ★<sup>ようじ</sup>幼児に<sup>ほん</sup>おすすめの<sup>ほん</sup>本★

### ★『サイモンは、ねこである。』

ガリア・バーンスタイン/<sup>さく</sup>作 なかがわちひろ/<sup>やく</sup>訳 あすなる<sup>しょぼう</sup>書房



ねこのサイモンがライオンたちに言いました。「ぼくたち、にてますね」するとライオンたちは大笑い。違うところをあげるけど、似ているところもたくさんあって…。

### ★『おすしがふくをかいにきた』

たなか たつや <sup>さく</sup> 白泉社



おすしが服を買いにお店にやってきました。数あるすしネタから、何に変身するのかな？身近なものを本物そっくりの何かに見立てる、楽しい写真絵本。

### ★『でこちゃん』



つちだのぶこ/<sup>さく</sup>作・<sup>え</sup>絵 PHP研究所

お母さんに髪の毛を切ってもらったでこちゃん。前髪がとっても短いので、みんなに「でこちゃん」って笑われた。あしたまでに、おでこが直っていればいいけど…。

★『すずちゃん』

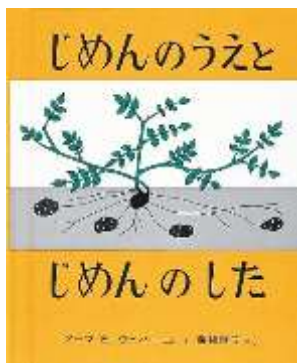
さえぐさひろこ/作 ひろかわさえこ/絵 佼成出版社



ある日、弱ったすずめを見つけたよ  
うちゃん。家につれて帰って、  
一生懸命お世話をします。でも、あ  
まりのかわいらしさに、すずめが  
元気になっても離れたくなくて…。

★『じめんのうえとじめんのした』

アーマ・E. ウェバー/文・絵 藤枝滯子/訳 福音館書店



にんじん、とうもろこし、じゃがいも  
…いつも目にしている植物が地面  
の上と地面の下で、どんな役割をは  
たしているか知っていますか？  
知るかがく絵本。

★『おうさまがかえってくる100びょうまえ!』

かしわばらかよこさく えほんの杜



おうさまがかえってくる100びょうまえ!  
放題に遊んでいた家来たち。ところ  
がおうさまが帰ってきた! 部屋に着く  
まであと100秒。部屋をきれいに  
できるかな?

しょうがっこう ねんせい ほん  
★小学校1・2・3年生におすすめの本★

★『物語 たくさんのお月さま』

ジェームズ・サーバー/作 ルイス・スロボドキン/絵 なかがわちひろ/訳  
徳間書店



「お月さまがほしい」というレノアひめのねがいをかなえてあげようと、王さまは大臣や魔法使いたちに相談します。大臣たちは知恵をしまりますが…。

★『すみれちゃんのあついなつ』

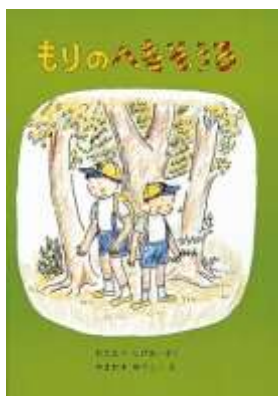
いしいむつみ/作 くろいけん/絵 かいせいしゃ  
偕成社



おしゃまでおしゃれなすみれちゃんが、小学2年生の夏休みに突入。なのに、ママから妹の世話ばかりたのまれて、おこったすみれちゃんは家出を決意!

★『もりのへなそうる』

わたなべしげお/作 やまわきゆりこ/絵 福音館書店



てつたくんとみつやくんの兄弟は、森の中で、へんな怪獣「へなそうる」と出会います。くいしん坊で臆病、でもとてもやさしい怪獣なのですが…。

★『すてきなひとりぼっち』



なかがわちひろ/作 のら書店

絵をかくのが好きな一平くん。クラスでもひとりぼっちになりがちですが、慣れていきます。

そんなある日、すてきな宝物をたくさん見つけて…。

★『おともだちにナリマ小』

たかどのほうこ/作 にしむらあつこ/絵 フレーベル館



1年生になったばかりのハルオの学校に、ある日へんてこな手紙が届きます。「おともだちにナリマ小」って書いてあります。

いったい、誰が何のために書いたのでしょうか？

★『土の色って、どんな色?』

くりたこういち/作 ふくいんかんしよてん 福音館書店



灰色にたくさんの色のまざった福岡県宗像市の土、少し赤い佐賀県玄海町の棚田の土、パステルのようにあざやかな、日本のいろいろな町や村の土の色を紹介します。

## ★小学校4・5・6年生におすすめの本★

### ★『二番目の悪者』

林木林/作 庄野ナホコ/絵 小さい書房



王様になりたい金のライオン。だが、街外れに住む心のやさしい銀のライオンが、次の王様候補だという噂を聞き、銀のライオンの悪い噂を広めて歩き…。

### ★『となりのアブダラくん』

黒川裕子/作 宮尾和孝/絵 講談社



パキスタンからやって来た転校生のアブダラくん。お世話係になった、小6男子のぼく、晴夜。最初、イスラムキョウのことはチンプンカンだったけど…。

### ★『貸出禁止の本をすくえ!』

アラン・グラッツ/作 ないとうふみこ/訳 ほるぷ出版



9歳の内気なエイミー・アンが落ち着くのは図書室にいるときだけ。でもある日、お気に入りの本が図書室の棚から消えていた。一体どうして？

★『雨やどりはすべり台の下で』

岡田淳/作 偕成社



一郎たちのアパートに住む雨森さんは、魔法つかいかもしれない。雨宿りに入り込んだ滑り台の下で、10人の子どもたちが語るちょっと不思議な雨森さんのお話。

★『ルドルフとイッパイアッテナ』

齊藤洋/作 杉浦範茂/絵 講談社



長距離トラックに乗って東京にやってきた黒猫のルドルフ。地域のボス猫で文字が読み書きできる「イッパイアッテナ」たちと出会い、野良猫として生活し始めることになる。

★『お蚕さんから糸と綿と』

大西暢夫/作 アリス館



滋賀県でただ一軒、「お蚕さん」を育てている養蚕農家、近所に暮らす糸とり名人、繭むき名人の仕事を写真で紹介。「お蚕さん」の大切さを伝える本。